

# 岐阜県 山のグレーディング

～ 無雪期・天気良好時の「登山ルート別難易度評価」～

岐阜県内の主要な登山ルート(75 ルート)について、体力度と登山道の難易度で評価しました。  
登山にあたっては「自分の力量にあった山選び」により、登山届を提出のうえ、安全にお楽しみください。

【作成】岐阜県  
【協力】岐阜県山岳連盟、(公社)日本山岳会岐阜支部、岐阜県北アルプス山岳連難対策協議会、御嶽山山岳連難防止対策協議会、能郷白山山岳連難防止対策協議会、恵那山山岳連難対策協議会、白山山岳連難対策協議会

数字が大きくなるほど体力が必要

体力度

目安	A	B	C	D	E
10	2泊以上が 3泊以上が 4泊以上が 5泊以上が 6泊以上が 7泊以上が 8泊以上が 9泊以上が 10泊以上が 11泊以上が 12泊以上が 13泊以上が 14泊以上が 15泊以上が 16泊以上が 17泊以上が 18泊以上が 19泊以上が 20泊以上が 21泊以上が 22泊以上が 23泊以上が 24泊以上が 25泊以上が 26泊以上が 27泊以上が 28泊以上が 29泊以上が 30泊以上が 31泊以上が 32泊以上が 33泊以上が 34泊以上が 35泊以上が 36泊以上が 37泊以上が 38泊以上が 39泊以上が 40泊以上が 41泊以上が 42泊以上が 43泊以上が 44泊以上が 45泊以上が 46泊以上が 47泊以上が 48泊以上が 49泊以上が 50泊以上が 51泊以上が 52泊以上が 53泊以上が 54泊以上が 55泊以上が 56泊以上が 57泊以上が 58泊以上が 59泊以上が 60泊以上が 61泊以上が 62泊以上が 63泊以上が 64泊以上が 65泊以上が 66泊以上が 67泊以上が 68泊以上が 69泊以上が 70泊以上が 71泊以上が 72泊以上が 73泊以上が 74泊以上が 75泊以上が	<p>【凡例】</p> <p>( ) 登山口</p> <p>&lt; &gt; 山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経由地</p> <p>● 入山口と下山口が異なる縦走ルート</p> <p>○ 入山口と下山口は同じだが途中の経路が異なる周回ルート</p> <p>御嶽山、焼岳、白山、乗鞍岳は活火山です。 登山前に火山情報をしっかりと確認してください。</p> <p>北アルプス 御嶽山 白山 恵那山 能郷白山 その他</p>	<p>57 白山(ホワイトロード料金所) &lt;北縦走路&gt; ※3 ※5</p> <p>54 白山(大窪) &lt;北縦走路&gt; ※3 ※5</p> <p>56 白山(三方岩駐車場) &lt;北縦走路&gt; ※3 ※5</p> <p>22 黒部五郎岳(新穂高) &lt;小池新道&gt;</p> <p>16 笠ヶ岳→双六岳(新穂高) &lt;小池新道&gt;</p> <p>64 三俣蓮華岳(飛越トンネル)</p>	<p>73 槍ヶ岳→西穂高岳 (新穂高・新穂高ロープウェイ) (注) ※4</p> <p>71 槍ヶ岳→奥穂高岳(新穂高) &lt;飛騨乗越&gt;</p>	
9		<p>53 白山(石徹白登山口) &lt;南縦走路&gt; ※5</p> <p>39 双六岳→笠ヶ岳(新穂高) &lt;笠新道&gt;</p> <p>34 双六岳→笠ヶ岳(新穂高・槍見) &lt;小池新道&gt;</p> <p>24 黒部五郎岳→双六岳(飛越トンネル・新穂高) &lt;小池新道&gt;</p>	<p>44 西穂高岳→槍ヶ岳 (新穂高ロープウェイ・新穂高) &lt;飛騨乗越&gt; (注) ※4</p>		
8			<p>35 双六岳→槍ヶ岳(新穂高) &lt;飛騨乗越&gt;</p> <p>72 槍ヶ岳→双六岳(新穂高) &lt;飛騨乗越&gt;</p>	<p>20 北穂高岳(新穂高)</p>	
7	1泊以上が 2泊以上が 3泊以上が 4泊以上が 5泊以上が 6泊以上が 7泊以上が 8泊以上が 9泊以上が 10泊以上が 11泊以上が 12泊以上が 13泊以上が 14泊以上が 15泊以上が 16泊以上が 17泊以上が 18泊以上が 19泊以上が 20泊以上が 21泊以上が 22泊以上が 23泊以上が 24泊以上が 25泊以上が 26泊以上が 27泊以上が 28泊以上が 29泊以上が 30泊以上が 31泊以上が 32泊以上が 33泊以上が 34泊以上が 35泊以上が 36泊以上が 37泊以上が 38泊以上が 39泊以上が 40泊以上が 41泊以上が 42泊以上が 43泊以上が 44泊以上が 45泊以上が 46泊以上が 47泊以上が 48泊以上が 49泊以上が 50泊以上が 51泊以上が 52泊以上が 53泊以上が 54泊以上が 55泊以上が 56泊以上が 57泊以上が 58泊以上が 59泊以上が 60泊以上が 61泊以上が 62泊以上が 63泊以上が 64泊以上が 65泊以上が 66泊以上が 67泊以上が 68泊以上が 69泊以上が 70泊以上が 71泊以上が 72泊以上が 73泊以上が 74泊以上が 75泊以上が		<p>63 三俣蓮華岳(新穂高) &lt;巻道ルート&gt;</p> <p>23 黒部五郎岳(飛越トンネル) ※2</p> <p>52 乗鞍岳(平湯温泉スキー場) ※5</p>	<p>70 槍ヶ岳(新穂高) &lt;飛騨乗越&gt;</p> <p>5 奥穂高岳(新穂高)</p>	
6		<p>32 双六岳(新穂高) &lt;小池新道&gt;</p>	<p>13 笠ヶ岳(新穂高) &lt;笠新道&gt;</p> <p>14 笠ヶ岳(新穂高・槍見) &lt;笠新道&gt;</p> <p>15 笠ヶ岳(槍見)</p>	<p>43 西穂高岳→奥穂高岳 (新穂高ロープウェイ・新穂高) (注) ※4</p>	
5	1泊以上が 2泊以上が 3泊以上が 4泊以上が 5泊以上が 6泊以上が 7泊以上が 8泊以上が 9泊以上が 10泊以上が 11泊以上が 12泊以上が 13泊以上が 14泊以上が 15泊以上が 16泊以上が 17泊以上が 18泊以上が 19泊以上が 20泊以上が 21泊以上が 22泊以上が 23泊以上が 24泊以上が 25泊以上が 26泊以上が 27泊以上が 28泊以上が 29泊以上が 30泊以上が 31泊以上が 32泊以上が 33泊以上が 34泊以上が 35泊以上が 36泊以上が 37泊以上が 38泊以上が 39泊以上が 40泊以上が 41泊以上が 42泊以上が 43泊以上が 44泊以上が 45泊以上が 46泊以上が 47泊以上が 48泊以上が 49泊以上が 50泊以上が 51泊以上が 52泊以上が 53泊以上が 54泊以上が 55泊以上が 56泊以上が 57泊以上が 58泊以上が 59泊以上が 60泊以上が 61泊以上が 62泊以上が 63泊以上が 64泊以上が 65泊以上が 66泊以上が 67泊以上が 68泊以上が 69泊以上が 70泊以上が 71泊以上が 72泊以上が 73泊以上が 74泊以上が 75泊以上が	<p>48 乗鞍岳(阿多野郷) ※1 ※5</p> <p>2 恵那山(前宮登山口)</p>	<p>49 乗鞍岳(青屋・畳平) ※5</p> <p>51 乗鞍岳(乗鞍青少年交流の家・畳平) ※5</p> <p>7 奥丸山(新穂高) &lt;右俣&gt;</p> <p>19 北ノ俣岳(飛越トンネル)</p>	<p>(注)危険箇所</p> <p>西穂～奥穂間は極めて危険。 熟練者を除き入山は控えること。</p> <p>「この地図は、測量法第29条に基づく承認「平26情報、第369号」を得て、国土地理院発行の電子地形図25000を複製したものを、(一部)転載したものである。」</p>	
4		<p>6 奥丸山(新穂高) &lt;左俣&gt;</p> <p>27 小秀山(二ノ谷口)</p> <p>65 妙法山(大窪) ※1</p> <p>9 御嶽山(濁河) ※5</p> <p>12 鏡平(新穂高) &lt;小池新道&gt;</p> <p>30 三方崩山(しらみずの湯) ※1</p> <p>3 恵那山(神坂峠登山口)</p> <p>1 恵那山(黒井沢登山口)</p>	<p>55 白山(大白川温泉) ※5</p> <p>68 焼岳(中尾登山口) ※5</p> <p>67 焼岳(新穂高ロープウェイ・中尾登山口) ※4 ※5</p>		
3		<p>31 白草山(乗鞍湯屋)</p> <p>62 丸黒山(乗鞍青少年交流の家)</p> <p>61 舟伏山(あいの森)</p> <p>11 川上岳(川上岳登山道入口)</p> <p>29 三周ヶ岳(三周ヶ岳登山口)</p>	<p>46 能郷白山(能郷谷登山口)</p> <p>47 野谷荘司山(大窪)</p> <p>38 寺地山(飛越トンネル)</p>	<p>42 西穂高岳(新穂高ロープウェイ) ※4</p>	
2	日帰り が可能	<p>58 福地山(福地温泉上)</p> <p>8 小津権現山(小津杉谷林道広場)</p> <p>26 御前山(四合目登山口)</p> <p>66 糺糠山(天生峠)</p> <p>25 高賀山(高賀神社駐車場)</p> <p>36 大日ヶ岳(ダイナランドスキー場)</p> <p>28 左門岳(根尾東谷)</p> <p>21 位山(モンテウススキー場)</p> <p>39 天蓋山(山之村キャンプ場)</p> <p>17 金草岳(冠山峠)</p> <p>74 養老山(養老山登山口)</p> <p>75 鷲ヶ岳(桑ヶ谷林道終点)</p> <p>18 無山(連帯の丘公園) &lt;株杉コース&gt;</p> <p>10 貝月山(長者平キャンプ場・ふれあいの森公園)</p> <p>45 能郷白山(温見峠)</p> <p>69 築谷山(築谷山登山口)</p> <p>60 二ツ森山(切越峠)</p>	<p>50 乗鞍岳(畳平) ※5</p> <p>40 独標(新穂高ロープウェイ) ※4</p> <p>【体力度の注意点】</p> <p>※1 当該ルートは体力度4～5(1泊以上が適当)ですが、ルート中に宿泊できる小屋やテント場がありませんので、登山者によっては日没までに下山できなくなるおそれがあります。ご注意ください。</p> <p>※2 当該ルートは体力度7(1～2泊以上が適当)ですが、ルート中に宿泊できる小屋やテント場が1カ所(北ノ俣避難小屋)しかありませんので、ご注意ください。</p> <p>※3 当該ルートは体力度10(2～3泊以上が適当)ですが、ルート中に宿泊できる小屋やテント場が1カ所(ゴマ平避難小屋)しかありませんので、ご注意ください。</p> <p>※4 当該ルートは、新穂高ロープウェイを利用します。余裕のある登山計画を立てるためにも、ロープウェイの運行時間等を事前にしっかりと確認してください。</p> <p>※5 当該ルートは活火山またはその周辺の山です。登山前に火山情報をしっかりと確認してください。</p>	<p>自分のレベルに合った山を選んでね! 登山届も提出しよう!</p> <p>山と自然ネットワークコンパス Compass http://www.mt-compass.com</p> <p>※「コンパス」は(公社)日本山岳ガイド協会が運営する登山届受理システムです。</p>	
1		<p>37 高屹山(高屹山登山口)</p>			

## 技術的難易度

右になるほど難易度が増す

登山道の状況	A	B	C	D	E
<p>◇ 概ね整備済</p> <p>◇ 転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い</p> <p>◇ 道迷いの心配は少ない</p>	<p>◇ 沢、崖、場所により雪渓などを通過</p> <p>◇ 急な登下降がある</p> <p>◇ 道が分かりにくいところがある</p> <p>◇ 転んだ場合の転落・滑落事故につながる場所がある</p>	<p>◇ ハシゴ・くさり場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある</p> <p>◇ ミスをすると転落・滑落などの事故になる場所がある</p> <p>◇ 案内標識が不十分な箇所も含まれる</p>	<p>◇ 厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・くさり場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や渡渉箇所がある</p> <p>◇ 手を使う急な登下降がある</p> <p>◇ ハシゴ・くさり場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い</p>	<p>◇ 緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する</p> <p>◇ 深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する</p> <p>◇ 箇所がある</p>	
<p>◆ 登山の装備が必要</p> <p>◆ 登山経験が必要</p> <p>◆ 地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要</p> <p>【用語解説】</p> <p>○ 藪漕ぎ・・・笹や低木などが密生する藪を手でかき分けながら進むこと</p> <p>○ 地図読み能力・・・地図を見て自分の位置を知ることができ、目的地へのルートを識別できる能力</p> <p>○ ルートファインディング・・・登山道についていないところ、また分かりづらいところで、一番安全に通過できるルートを識別すること</p>	<p>◆ 登山経験が必要</p> <p>◆ 地図読み能力があることが望ましい</p>	<p>◆ 地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要</p>	<p>◆ 地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要</p> <p>◆ ルートファインディングの技術が必要</p>	<p>◆ 地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要</p> <p>◆ ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要</p> <p>◆ 登山者によってはロープを使わないと危険な場所もある</p>	

(体力度については、鹿屋体育大学 山本正嘉教授の研究結果を元に、合計コースタイムやルート長、累積標高差などを用いて評価しました。体力度レベルが大きいルートは何日かに分けて歩くことで自分のレベルに合わせる事ができます。目安となる宿泊数を体力度レベルと合わせて示していますので参考にしてください。)

### ＜使用上の注意＞

- この表は、無雪期・天気良好の条件のもと、ルート固有の地形的な特徴について体力度と難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度、難易度以外に悪天候、残雪、体調、その他偶発的な要因による様々なリスクがあるので、それらにも配慮した計画を立てることが必要です。
- 地震や崩落、雪崩などにより、登山道の通行規制や付け替えがありますので、登山の際には、事前に山小屋や近くの警察署などに登山道の状況等を確認することをお勧めします。
- 一つの山に、登山口が同一のルートが複数ある場合がありますので、必ず事前にルートを確認してください。
- いずれのランクにおいても、初めてそのランクを経験する場合はには必ず経験者を同伴してください。
- この表に記載した登山ルートは「ぎふ百山」を中心に、岐阜県内で比較的登山者の多いものから選定したもので、必ずしも登山を推奨する登山ルートではありません。整備・維持されていない登山ルートを含みます。また、登山ルートの通行や山頂への到達、登山の安全を保障するものではありません。登山される際は、十分な準備のもと入山してください。記載のルートにおける事故については責任は負いかねます。

＜問合せ先＞  
岐阜県 危機管理部 防災課  
山岳連難・火山対策室  
Tel : 058-272-1131  
E-mail : c11115@pref.gifu.lg.jp

＜登山届の提出先＞  
gifu-tozan@govt.pref.gifu.jp